

第31回日本医療情報学連合大会

第11回 HELICS協議会シンポジウム

「医療情報標準化とHELICSの役割」

HCI
HEALTHCARE INNOVATION

平成23年11月20日

豊田 建
HELICS協議会理事
日本医療情報学会理事

第9回シンポジウム(2010年／平成22年11月18日 アクトシティ浜松)

「医療情報標準化の基盤を今一度考える」

医療機関の経営指標、臨床指標、医療の質の指標等の課題

第10回シンポジウム(2011年／平成23年6月17日 幕張メッセ国際
会議場)

「データが活用できる医療情報システムを考える」

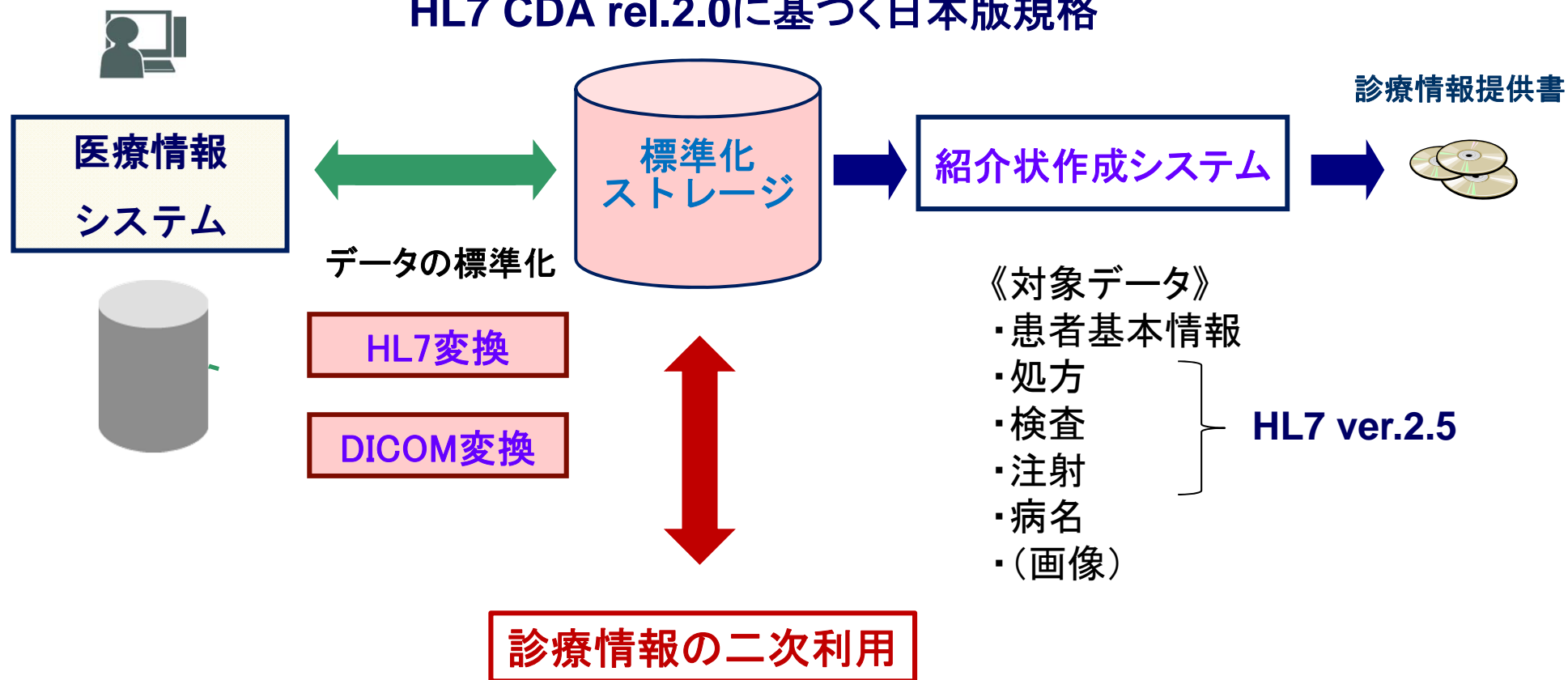
医療情報システムの臨床情報の課題

1. 標準化の進展に伴い、新たに顕在化した課題
2. HELICSの役割

標準化の進展に伴い、新たに顕在化した課題

SS-MIX: Standardized Structured Medical record Information Exchange

HL7 CDA rel.2.0に基づく日本版規格



現在の多くの病院情報システムから標準的に利用できる医療情報

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 患者基本情報 | HL7 CDA rel.2.0 |
| □ 氏名/生年月日/性別等 | |
| 2. 処方オーダー情報 | HL7 ver.2.5+HOTコード |
| □ 処方オーダー情報 | |
| □ 注射オーダー/実施情報 | |
| 3. 検査オーダー情報及び検査結果 | HL7 ver.2.5+JLAC10 |
| □ 検体検査オーダー情報 | |
| □ 検体検査結果情報 | |

SS-MIX対応電子カルテシステム導入状況（平成23年3月末現在）

● 富士通	303
● ソフトウェアサービス	274
● 日本電気	129
● SBS情報システム	17
● 日本アイビーエム	2
合計	725

項目の定義に相違がある（定義が定まっていない）

- 外来患者数 他
- 臨床病名 他

「炎症性乳癌」（国立がん研究センター西本先生発表）

数値の表現形式に相違がある

- 薬の投与量
- 検体検査 他

疫学的に処理するためには属性情報が不足している

- 身長体重等の測定日
- 検査の目的
- 検査時の患者の状況 他

「医療情報データベース基盤の整備事業」

- 病院情報システムの医療情報が、国民の安全に寄与する時代の到来

実現のための課題

- 必要とされる標準化？

HELICSの役割

第3条 本会は、保健医療福祉情報システムで扱う情報（患者情報を含む）を電子的に交換するための方法、コードを含む記述形式、保存形式などについて、標準化活動に関する団体間での一貫性のある活動を実現するために、標準化の方針と内容について協議を行う。同時に利用目的ごとに採択すべき標準規格を推奨し、その利用のための指針を示す。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1 標準規格の採択：会員各団体から申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する。

2 情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を提供する。

3 各団体との協議：上記審議の過程で、必要に応じて、標準化活動を行っている団体に対して、適切な助言を行う。

4 国際活動への支援：国際的な標準化活動において、日本固有の規格の提案、他の規格との調整などにつき、協議の上支援を行う。

5 その他本会の目的を達成するために必要な業務を行う。

今後必要とされる標準について、関係諸団体とともに課題を共有し、関係諸団体が標準化を進めることを支援する。

HCI
HEALTHCARE INNOVATION

